

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	05 電気	改正	C60664-1	低圧系統内機器の絶縁協調—第1部:基本原則,要求事項及び試験	Insulation coordination for equipment within low-voltage supply systems – Part 1: Principles, requirements and tests	この規格は、低電圧機器の絶縁協調を規定しているため、多くの製品安全規格に引用されている基本安全規格である。基本安全規格は、頻繁に改正することは避けるべきという意見がある一方で、規格が分かりにくいという意見が多かったことから、対応国際規格のIEC 60664-1は、基本的に技術的な内容を変更せず、より理解しやすい規格とするために改正された。項番号等が大きく変更されたため、今後において、多くの国際整合の製品安全規格から引用されることを考えて、JISも国際規格にあわせた改正が必要と判断した。	項目番号等の変更が主であるものの、JIS C 60664-1も国際規格にあわせて改正することでより分かり易くなるものと判断した。日本はIEC 60664-1の改正による規格のガイド(TR 60664-2-1)改正を主体的に行うことになっているが、JIS C 60664-1が分かり易くなることで理解が促進され、ガイド作成への協力も得られるものと考ええる。なお、IEC 60664-1が理解しやすくなったという点で、国際の場ではガイド不要論も浮上したが、日本としては、具体事例が記載されているガイドは有用でありかつ必要であると訴え、現在に至っている。	主な内容は次のとおり。 A) 箇条4および箇条5の構成の見直し B) 附属書BおよびFの表への1 500 VDCの追加。 C) 表F.10を追加し、距離高度補正の更新。 D) 空間距離のフローチャートを含む附属書Gを追加 E) 沿面距離のフローチャートを含む附属書Hを追加	—	IEC 60664-1	IDT	第2条の該当号: 1(寸法,構造) 対象事項: 一般電気製品	法律の目的に適合している。	利点: ア,エ,カ 欠点: いずれも該当しない。		国際規格との整合	一般社団法人電気学会のWG	2022年1月